

2  
[Special]  
ペットと幸せに暮らせる家  
Dear Our Partner

8  
[Owner's Story]  
With Lover's Style  
愛すべき小さな家族と。

14  
[Technology]  
地震から暮らしを守りぬく

20  
[Culture]  
私の小宇宙Sweden

21  
[Essay]  
ウフフの我が家

22  
[Life Style]  
The moment of mjuk!

24  
[OWNER'S CIRCLE]  
Good Neighbors

26  
[SWEDEN HOUSE CIRCLE]  
Good Neighbors

## ペットは暮らしの環境を選べない。

犬の役割は番犬で、猫はネズミ捕り  
というのは過去のこと。今やペットの生  
活は外から室内へ移り変わっています。  
つまり、多くの犬や猫にとって、飼い主  
が与える環境が世界のほぼ全て。家こそ  
一生の舞台なのです。しかし、わが子の  
ような彼らも、生理や生態、行動パター  
ンは人とは異なり、個性もそれぞれ違  
います。またふれあいの表現も家庭ごと  
に様々。家族の数だけペットとの暮らし  
があり、こうしたらペットが幸せになる  
といった一律の答えはないのです。彼ら

の暮らしのためにと、滑りにくい床材や、  
汚れや臭いにつきにくい建材など、様々  
なペット用のアイテムが登場しています  
が、単なるトラブル対策に過ぎず、根本  
的な答えとはいえません。「アイテムを  
ただプラスしていく考え方は、大切な  
健康面やしつけ面などで、どうしても行  
き詰まってしまうます。人とペットが楽  
しく快適に暮らすためには、根本的な住  
環境を整えることこそ大切なんです」と  
一級建築士でペットケアアドバイザーで  
ある金巻とも子氏はおっしゃいます。

【特集】

# ペットと幸せに暮らせる家

家族の一員として多くの家庭に迎えられるようになったペット。

日本では現在、犬の約80%、猫の約85%が家の中で暮らしているといえます。

ほとんどの時間を室内で過ごしている彼らにとって、どんな家が快適なのか？

そんな視線から住まいという環境を考えていくと、

大切なことが明確になってきます。

ペットと幸せに暮らせる家には、なくてはならない条件があるのです。

# Dear Our Partner



## 健康を支える「住環境」を。

2本足で立つ生活をする人とは違って、犬や猫は立っていても床にずっと近く、寝そべったり腹ばいになることも頻繁です。そのため床の環境はベッドには大きく影響します。金巻氏は「床は直接ふれる場所ですから、調湿性に優れた暖かい針葉樹系の床材がおススメ。ずっと赤ちゃんがいるものと思っしてほしい」とおっしゃいます。しかも犬が快適を感じる温度は人よりも2℃以上低く、発汗による体温調節ができません。冬期熱中症が犬に多いという事実をご存知でしょうか？これは、床暖房による過度の体温上昇が原因です。「気密・断熱性能は大切です。床暖房に頼らなくてもいい家なら、ペットも人もお互い

快適に暮らせる」と金巻氏。窓から外を一途に眺めるペットの後ろ姿はとても愛くるしいもの。家の中からの光や風を感じる大きな窓があると、ペットたちの自律神経に良い影響を及ぼします。しかし、窓は冷気や不快な音の入口となることもあるため、ストレスのポイントにもなりやすい場所。また、犬や猫が本来望むのはカビやダニなどの少ない環境であるため、結露しないことも大切です。窓の気密・断熱性能や遮音性が高いことは、彼らが快適に暮らせる条件でもあります。ペットの健康面を考えると、不可欠なのは、基本性能の優れた住環境です。それは、人がリラックスして快適に暮らせる家でもあるのです。

## 安心できる「人環境」を。

犬なら一日の9割の時間、猫なら7割、飼い主の様子を見ているといわれています。それほどの時間を費やして、人の反応や態度を見て、状況を判断しているそうです。ペットにとって実はいちは重要なのは、人という環境なのです。まずは家の中で、飼い主である家族が本当にリラックスしていることが大事なのです。

「たとえば車が近くを通っても気にもかけない犬でも、人が立ち上がるとそれが注意を要することかどうか、人の様子に頼っているのです」と金巻氏。家族が寛いでいれば、彼らにとってそこは安心してよい環境であり、人に不快感や緊張感があれば警戒が必要になります。「家の中は彼らにとっていわば、巣ぐです。リーダーである人の緊張が続けば、不安が積み重なって、無駄吠えなど、飼い主を悩ませる行動を起こしかねないのです」。

親の喜怒哀楽が、子どもたちに影響するのと、どこか似ています。金巻氏は「親がリラックスしていれば、子どもは安心できる。本能的に動物と子どもは同じ」とも。しかし様々な刺激を受ける私たちは、家でいつも穏やかに振る舞えるとは限りません。そんな時も彼らはまるでメンタリストのように、無意識でしている人の行動や表情のわずかな違いまでしっかりとチェックできるそうです。また、犬や猫と暮らすことは、毎日の家事に動物の世話が加わることでもあります。ペットのケアにスムーズに対応でき、人にもペットにもよい結果を生むのではないのでしょうか。「犬が飼い主に呼びかけたり、飛びついて立ち上がったたり、可愛らしいあの行為は、飼い主の表情を読み取りたい、という要求でもあるのです」。平静を繕っても、犬や猫たちを騙すことはできませんね。

### 床 Floor

味わいのある床材の下に、密度16kg/m<sup>3</sup>の高性能グラスウールを200mmの厚さでびっしりと敷き詰めて、床暖房不要の快適な断熱性能を支えています。

## Dear Our Partner

ペットと幸せに暮らせる家

### 階段 Stairs

特に猫には大好きな縦空間のプレイゾーンになる階段。スウェーデンハウスの特長は、上り下りしやすい安心設計。有効幅が920mm、蹴上げ195mm以下、踏面は210mm以上という緩やかな勾配です。

※プランによりサイズは異なります





# Dear Our Partner

ペットと幸せに暮らせる家

## 金巻とも子

「かねまき・こくぼ空間工房」主宰、一級建築士、一級愛玩動物飼養管理士（ペットケア・アドバイザー）、家庭動物住環境研究家。設計業務の他、家庭動物（ペット）との暮らしをテーマに、建材メーカーや不動産の商品開発に協力。行政や獣医師会、動物愛護団体等に協力し、住宅におけるペット飼育問題に取り組んでいる。著書に『犬・猫の気持ちで住まいの工夫』（彰国社）、『マンションで犬や猫と上手に暮らす』（新日本出版社）など。

## 窓 Window

スウェーデンハウスだけの木製サッシ3層ガラス窓。高気密・高断熱性能を誇り、遮音性も高いこの窓なら、温度差も結露も不快な音も少ないため、ペットたちも快適で安心。日光浴を楽しみながら、一日中風景をのんびりと眺める特等席になります。

## 人もペットも 快適である家。

愛くるしい姿のため、対応が遅れがちなのがペットの老化。そのスピードは人間よりもずっと速く、小型犬や猫は7歳から、大型犬は5歳から、聴力や視力、体力が衰えはじめます。トイレのそそぐを起こしやすいのこの頃からです。たとえば猫は、トイレを寒い場所に置くと、行くのを避けるようになり、水飲みの量も減ることも。それが病気を招くこともあるそうです。金巻氏は「家の中の温度差もできるだけなしにしたい。高齢者と暮らしているものと思ってもらいたい」と話されます。トイレの失敗などが彼らの精神的なダメージになり、飼い主が怒ったり、ため息をついたりすることですさらに傷つき、老化に拍車をかけてしまうことになります。

人にとって身も心も快適な高気密・高断熱の家は、ペットにも快適な家。そして彼らとの幸せな共生を考えることは、住まいの本質的な快適を考えることにつながるのではないのでしょうか。

金巻氏は最後に話されます。「動物は老年寄りや赤ちゃんと同じように、家の性能にとっても正直なのです。気密・断熱性能などの基本性能や動線効率が十分ではない家でペットと暮らしていると、その家の未熟な部分が目立って現れてしまいます。あらゆる世代に快適な基本性能を備えたスウェーデンハウスは、人とペットが幸せに暮らせる条件が十分に揃っていると思います」。

スウェーデンハウスは、赤ちゃんから老年寄りまで、誰もが安心して快適に暮らせる家を目指しています。それは、家族全員が屈託のない笑顔で末長く暮らせ、ペットたちにもかけがえのない環境となる…人もペットも幸せにする家です。もしペットたちがスウェーデンハウスで我慢することがあるとすれば、おいしそうなパイン材に噛みつきたいという衝動だけです。